TADOKU JUNIOR　西風かあさんのおはなし（バージェス）　★★★☆☆ ふつう　744語

Jerry Muskrat's Party

マスクラットのジェリーのパーティー

Thornton W. Burgess（1910年の本）　原文そのまま　朗読：Laurie Anne Walden

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　マスクラットのジェリーが、にこにこ池でパーティーをひらきました。でも、およげない動物たちはつまらなそう。ジェリーたちが思いついたのは……？



All the Merry Little Breezes of Old Mother West Wind were hurrying over the Green Meadows. Some flew this way and some ran that way and some danced the other way. You see, Jerry Muskrat had asked them to carry his invitations to a party at the Big Rock in the Smiling Pool.

Of course every one said that they would be delighted to go to Jerry Muskrat's party. Round Mr. Sun shone his very brightest. The sky was its bluest and the little birds had promised to be there to sing for Jerry Muskrat, so of course all the little folks in the Green Meadows and in the wood wanted to go.

There were Johnny Chuck and Reddy Fox and Jimmy Skunk and Bobby Coon and Happy Jack Squirrel and Striped Chipmunk and Billy Mink and Little Joe Otter and

Grandfather Frog and old Mr. Toad and Mr. Blacksnake—all going to Jerry Muskrat's party.

When they reached the Smiling Pool they found Jerry Muskrat all ready. His brothers and his sister, his aunts and his uncles and his cousins were all there. Such a merry, merry time as there was in the Smiling Pool! How the water did splash! Billy Mink and Little Joe Otter and Grandfather Frog jumped right in as soon as they got there. They played tag in the water and hid behind the Big Rock. They turned somersaults down the slippery slide and they had such a good time!

But Reddy Fox and Peter Rabbit and Bobby Coon and Johnny Chuck and Jimmy Skunk and Happy Jack and Striped Chipmunk couldn't swim, so of course they couldn't play tag in the water or hide and seek or go down the slippery slide; all they could do was sit around to look on and wish that they knew how to swim, too. So of course they didn't have a good time. Soon they began to wish that they hadn't come to Jerry Muskrat's party. When he found that they were not having a good time, poor Jerry Muskrat felt very badly indeed. You see he lives in the water so much that he had quite forgotten that there was anyone who couldn't swim, or he never, never would have invited all the little meadow folks who live on dry land.

“Let's go home,” said Peter Rabbit to Johnny Chuck.

“We can have more fun up on the hill,” said Jimmy Skunk.

Just then Little Joe Otter came pushing a great big log across the Smiling Pool.

“Here's a ship, Bobby Coon. You get on one end and I'll give you a sail across the Smiling Pool,” shouted Little Joe Otter.

So Bobby Coon crawled out on the big log and held on very tight, while little Joe Otter swam behind and pushed the big log. Across the Smiling Pool they went and back again. Bobby Coon had such a good ride that he wanted to go again, but Jimmy Skunk wanted a ride. So Bobby Coon hopped off of the big log and Jimmy

Skunk hopped on and away he went across the Smiling Pool with little Joe Otter pushing behind.

Then Jerry Muskrat found another log and gave Peter Rabbit a ride. Jerry Muskrat's brothers and sisters and aunts and uncles and cousins found logs and took Reddy Fox and Johnny Chuck and even Mr. Toad back and forth across the Smiling Pool.

Happy Jack Squirrel sat up very straight on the end of his log and spread his great bushy tail for a sail. All the little Breezes blew and blew and Happy Jack Squirrel sailed round and round the Smiling Pool.

Sometimes someone would fall off into the water and get wet, but Jerry Muskrat or Billy Mink always pulled them out again, and no one cared the tiniest bit for a wetting.

In the bushes around the Smiling Pool the little birds sang and sang. Reddy Fox barked his loudest. Happy Jack Squirrel chattered and chir—r—r—ed. All the muskrats squealed and squeaked, for Jerry Muskrat's party was such fun!

By and by when Mr. Sun went down behind the Purple Hills to his home and Old Mother West Wind with all her Merry Little Breezes went after him, and the little stars came out to twinkle and twinkle, the Smiling Pool lay all quiet and still, but smiling and smiling to think what a good time every one had had at Jerry Muskrat's party.

西風かあさんの陽気なそよ風たちはみんな、みどりの野原の上をいそいでいました。あっちへとんでいくものもいれば、こっちへ走っていくものも、またべつのほうへおどっていくものもいました。じつは、マスクラットのジェリーにたのまれて、にこにこ池の大岩でひらくパーティーのしょうたいを、みんなにとどけていたのです。

もちろん、みんな、ジェリーのパーティーにはよろこんで行きますと言いました。まるいお日さまは、せいいっぱい明るくかがやきました。空はいちばん青く、小鳥たちはジェリーのために歌いに来るとやくそくしていたので、もちろん、みどりの野原や森の小さななかまたちは、みんな行きたがりました。

ウッドチャックのジョニー、キツネのレディ、スカンクのジミー、アライグマのボビー、リスのハッピー・ジャック、シマリス、ミンクのビリー、カワウソのジョー、カエルのおじいさん、ヒキガエルのおじさん、クロヘビさん――みんな、ジェリーのパーティーへむかっていました。

にこにこ池につくと、ジェリーはすっかりじゅんびをととのえて待っていました。ジェリーの兄弟たちも、女のきょうだいも、おばさんもおじさんも、いとこたちも、みんな来ていました。にこにこ池では、なんて楽しい楽しいときがすごされたことでしょう！水がどんなにはねたことでしょう！ビリーとジョーとカエルのおじいさんは、ついたとたん、水にとびこみました。3びきは水の中でおにごっこをしたり、大岩のうしろにかくれたりしました。つるつるすべり台をとんぼがえりですべりおりたりして、それはそれは楽しくすごしました！

でも、キツネのレディとウサギのピーターとアライグマのボビーとウッドチャックのジョニーとスカンクのジミーとハッピー・ジャックとシマリスは、およげませんでした。だから、もちろん水の中でおにごっこをすることも、かくれんぼをすることも、つるつるすべり台をすべることもできません。できることといったら、まわりにすわって見ていて、自分たちもおよげたらいいのになあと思うことだけでした。だから、もちろんちっとも楽しくありませんでした。まもなく、ジェリーのパーティーになんか来なければよかったと思いはじめました。みんなが楽しんでいないとわかると、かわいそうに、ジェリーはとてもとても心をいためました。じつはジェリーは、水の中ですごすことがあまりに多いので、およげない者がいるということを、すっかりわすれていたのです。そうでなかったら、かわいた土の上に住んでいる野原の小さななかまたちを、けっして、けっしてしょうたいしたりはしなかったでしょう。

「帰ろうよ」とピーターはジョニーに言いました。

「おかの上のほうが、もっとおもしろく遊べるよ」とジミーは言いました。

ちょうどそのとき、カワウソのジョーが、大きな大きな丸太をおして、にこにこ池をわたってきました。

「ほら、船だよ、ボビー。はしっこにのってごらん。にこにこ池のむこうまで、のせていってあげるよ」とジョーはさけびました。

そこでボビーは大きな丸太の上にはい上がって、しっかりとしがみつきました。ジョーはうしろからおよいで、大きな丸太をおしました。ふたりはにこにこ池をわたって、またもどってきました。ボビーはとても楽しかったので、もう一度のりたくなりましたが、ジミーものりたがりました。そこでボビーは大きな丸太か

らとびおり、ジミーがとびのって、ジョーにうしろからおしてもらいながら、にこにこ池をわたっていきました。

それから、ジェリーももう1本丸太を見つけてきて、ピーターをのせてあげました。ジェリーのきょうだいや、おばさんやおじさんやいとこたちも丸太を見つけてきて、レディやジョニーや、ヒキガエルのおじさんまで、にこにこ池をいったりきたりさせてあげました。

ハッピー・ジャックは丸太のはしっこにぴんとすわって、大きなふさふさのしっぽを広げて、ほにしました。小さなそよ風たちがみんなでふいて、ふいて、ふきつづけたので、ハッピー・ジャックの丸太は、にこにこ池をぐるぐる、ぐるぐるとはしりまわりました。

ときどきだれかが水におちてぬれてしまいましたが、いつもジェリーかビリーが引っぱり上げてくれたので、ぬれることなんて、だれもちっとも気にしませんでした。

にこにこ池のまわりのしげみでは、小鳥たちが歌って、歌って、歌いつづけました。キツネのレディは、せいいっぱい大きな声でほえました。ハッピー・ジャックは、おしゃべりしたり、チルルルとさえずったりしました。マスクラットたちはみんな、キーキー、チューチューと声をあげました。ジェリーのパーティーは、それはそれは楽しかったのです！

やがて、お日さまがむらさきの山のむこうのおうちへしずんでいき、西風かあさんが陽気なそよ風たちをみんなつれてそのあとを追い、小さな星たちが出てきてきらきら、きらきらかがやくと、にこにこ池はしいんとしずかになりました。でも、みんながジェリーのパーティーでどんなに楽しくすごしたかを思って、にこにこ、にこにことほほえんでいました。

たんご と クイズ　マスクラットのジェリーのパーティー

party パーティー	**invitations** しょうたい（じょう）	**slide** すべり台
log 丸太	**ship** 船	**tail** しっぽ
sail ほ	**stars** 星	

Q1 パーティーのしょうたいを、みんなにとどけたのはだれ？

① 小鳥たち　② 陽気なそよ風たち　③ カエルのおじいさん

Q2 ジェリーが、およげない動物までさそってしまったのはなぜ？

① いじわるをしたかったから　② 丸太にのせたかったから

③ およげない者がいるのをわすれていたから

Q3 ハッピー・ジャックは、なにを「ほ」にした？

① 自分のふさふさのしっぽ　② 木の葉　③ ジェリーのぼうし

こたえ

Q1 ②　ジェリーにたのまれて、陽気なそよ風たちが、にこにこ池の大岩でひらくパーティーのしょうたいをとどけました。

Q2 ③　ジェリーは水の中ですごすことが多いので、およげない者がいることを、すっかりわすれていたのです。

Q3 ①　ハッピー・ジャックは、大きなふさふさのしっぽを広げてほにし、そよ風にふかれて池をはしりまわりました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #2557（Thornton W. Burgess、1910年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Laurie Anne Walden（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。